大学教育学会ニュースレター

No.109　　2018.10.2

一般社団法人大学教育学会　（*Japan Association for College and University Education*）
事務局：〒252-0231　神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204
TEL/FAX：（042）707-8112
郵便振替口座：00210-9-102857　一般社団法人大学教育学会
E-mail：jacue.office@gmail.com　　URL：http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/

大学教育学会 2018 年度課題研究集会
統一テーマ　「多様な学生が学び、共に成長するキャンパスへ」
―国際社会にひらかれ、未来を創る大学の実現―

大学教育学会 2018 年度課題研究集会企画委員会委員長
池　田　輝　政（追手門学院大学・教授）

本年度の課題研究集会は、12 月 1 日（土）～2 日（日）に長崎国際大学において開催されます。開催校の実行委員会には、本学会の方針に沿って行事等のスケジューリングをきめ細やかに進めて頂いております。この場をお借りして、企画委員長として、表題の統一テーマ及び関連のシンポジウムについて期待するところを述べさせて頂きます。

統一テーマのキーワードは、「多様性」「学び」「成長」です。これらはそれぞれが深い学術的かつ教育実践的な変革の課題を持っています。例えば、キャンパスで向き合う学生の「多様性」は、Diversified（多様性を認める）から Inclusive（多様性を包み込む）にシフトしています。学生の「学び」は、Passive（受け身である）ことから脱して、Active（自発的である）ことへの気づきと行動変容が求められています。そして学生の「成長」は、Knowledge & Skill （知識とスキルを獲得する）のみならず、Competency（人生と社会を生き抜く力を獲得する）にまで可視化と評価の範囲が広がっています。

国内環境の先細りのなかで世界的にも新次元の高度課題に対応するには、戦略と経営資源の持続性に責務を持つ教学・経営リーダー層と力量向上に誠実に励む教職員との協働体制が不可欠だと思います。ファカルティの経営参画力を弱めるガバナンス改革を進めるだけでは、「共に成長するキャンパス」の実現は近づいてはこないでしょう。副題とする「国際社会にひらかれ、未来を創る大学の実現」に託された開催校の深い想いを、私はこのような問題意識において受け止めます。課題研究集会の当日のプログラムの概要は次の通りです。

1 日目は、午前中からポスターセッションが始まります。午後からの記念講演には、持続可能なプラチナ社会構想の実現と未来の大学像を示唆していただく三菱総合研究所理事長の小宮山宏氏にご登壇いただきます。続いての開催校シンポジウムでは、統一テーマをめぐって 4 名の方々に話題提供と討議をお願いしています。平田純一氏（立命館アジア太平洋大学・教授）にはカリキュラムの視点から、岩重聡美氏（長崎県立大学・教授）には、海外ビジネス研修の視点から、近藤武夫氏（東京大学・准教授）には修学支援の視点から、そして、清水明男氏（学校法人羽衣学園常務理事、羽衣国際大学事務局長）には大学経営の視点から、独自の課題解決の方法を語って頂きます。

2 日目は、午前から午後にかけて、課題研究シンポジウムが開催されます。テーマはそれぞれ、「①現代のリベラルアーツとしての理数工系科目（STEM）の開発と教育実践のために」（最終年度）、「②学生の思考を鍛えるライティング教育の課題と展望」（新規）、「③アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実証的研究」（新規）です。

開催校の長崎国際大学は、国内外からの観光客に人気のハウステンボスと隣り合うキャンパスです。実際に訪問して分かったことは、ホスピタリティを具現化する地域茶道文化をアクティブ・コアとして学ぶことができる独自性を持った大学だということです。地域活性化と生き残りに本気で取り組む大学の未来形の一つに出会うことができると思います。会員の皆様のご参加をお待ちします。

大学教育学会 2018 年度課題研究集会

実　施　要　項

統一テーマ　：　多様な学生が学び、共に成長するキャンパスへ
　　ー国際社会にひらかれ、未来を創る大学の実現―
主　　催　：　一般社団法人大学教育学会
共　　催　：　長崎国際大学
期　　日　：　2018 年 12 月 1 日（土）～2 日（日）
会　　場　：　長崎国際大学キャンパス（tel:0956-39-2020）
　　（〒859-3298　長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7）

【スケジュール】
第 1 日

9：00	10：00	12：15	13：00	13：40	15：10	17：00	17：30	19：00
受　付	ポスターセッション	昼　食	開会行事	記念講演	開催校シンポジウム	移　動	情報交換会※	

※情報交換会会場　：　ホテルローレライ　tel:0956-59-3939
　　〒859-3236　長崎県佐世保市南風崎町 449

第 2 日

9：00	9：30	12：00	13：00	15：30	16：00
受　付	課題研究シンポジウム Ⅰ	昼　食	課題研究シンポジウム Ⅱ、Ⅲ	閉会行事	

【関連行事】
12 月 1 日（土）9：00　　理事受付
　　9：30～12：30　　理事会
　　（長崎国際大学本部棟 2 階会議室）

第１日　12 月１日（土）

9：30　　受付開始（R 棟１階ロビー）

10：00　～　12：15　　ポスターセッション（2102、2103、2104、2105 教室）

本課題研究集会では、ポスターセッションの時間を 2 時間 15 分としています。最初の約 1 時間は、順次発表者がそれぞれの研究を紹介する時間とします。例えば、各会場の奇数番号のポスターが、順次 5 分程度で紹介され、続いて、偶数番号のポスターが順次紹介されることになります。この間に、紹介の割り当てがない発表者は他のポスター紹介を聞いて回ることが可能となります。そして、残りの約 1 時間は、発表者がそれぞれのポスターの場所に張り付き、研究を紹介することとします。これは、ポスター発表者も、他のポスター発表をされる研究者と意見交換したいとの要望にお応えするものです。（詳細については、発表会場に掲示します。）

【2102 教室】：アクティブラーニングの設計と効果

① 数学知識の本質の分析に基づく数学的リテラシー教育の授業デザイン
○川添　充（大阪府立大学）
五島譲司（新潟大学）
落合洋文（名古屋文理大学・非会員）

② ケースメソッドＳＤ（Staff Development）のアクションリサーチ
○上畠洋佑（愛媛大学）
松村典彦（金沢大学・非会員）

③ 大学院生ライティングチューターの視点から見たライティング指導
○深尾暁子（国際基督教大学）

④ ライティング・スキルとしての間接引用につなげる要約指導の実践
○中村かおり（拓殖大学）
○向井留実子（東京大学）
○近藤裕子（山梨学院大学）

⑤ 子ども科学教室の企画・実践を題材とした Project Based Learning(PBL)を通して、学生は何を学んだか？
○布柴達男（国際基督教大学）

⑥ 専攻教育へ橋渡しする授業科目の有効性～九州大学 21 世紀プログラム「課題研究」を事例として～
○田尾周一郎（九州大学）
○田中　岳（東京工業大学）
副島雄児（九州大学・非会員）
飯島裕治（九州大学・非会員）

⑦ 学部別のアクティブ・ラーニング型授業手法についての分析
○前田裕介（長崎大学）
北村　史（長崎大学・非会員）
○成瀬尚志（長崎大学）

⑧ 論証モデルを用いたアカデミックライティングの授業デザインの有効性―初年次と 2 年次のレポート評価結果にもとづいてー
○丹原　惇（新潟大学）

小野和宏（新潟大学）
松下佳代（京都大学）
斎藤有吾（藍野大学）
西山秀昌（新潟大学・非会員）
秋葉陽介（新潟大学・非会員）

⑨ 物理学講義実験における学生の学習行動
○齋藤芳子（名古屋大学）

⑩ 学生発案型授業を通じた学生の学びと成長
○石井和也（宇都宮大学）
桑島英理佳（宇都宮大学・非会員）

【2103 教室】: 特色ある教育と学びの教育開発のあり方

① 日本の大学における心理学教育カリキュラムの特徴（2）
○本田周二（大妻女子大学）
八城　薫（大妻女子大学・非会員）
古田雅明（大妻女子大学・非会員）
香月菜々子（大妻女子大学・非会員）
堀　洋元（大妻女子大学・非会員）
井上修一（大妻女子大学・非会員）
牧野智和（大妻女子大学・非会員）

② 法学分野における大学・大学院・専門職大学院の関係性
○坂巻文彩（九州大学大学院）

③ 大学問題を共有する新たなアプローチの提案：「学生の立場をくぐる」ボードゲームの試作
○萩原広道（京都大学大学院）
佐野泰之（京都大学大学院）
谷川嘉浩（京都大学大学院・非会員）
杉谷和哉（京都大学大学院・非会員）
金澤木綿（京都大学・非会員）
下平剛司（京都大学工学部・非会員）
森川知彦（京都大学薬学部・非会員）

④ 事例研究　筑波大学大学院　エンパワーメント情報学プログラムの構造と課題
○竹永啓悟（同志社大学大学院）
○山田亜紀（筑波大学）

⑤ 博物館展示を母国語で表現するワークシートー博学連携による多様化する留学生に対する教育実践―
○和田　健（千葉大学）
村木二郎（国立歴史民俗博物館・非会員）

⑥ 睡眠と大学生活
○高橋大樹（武蔵野大学）
渡部博志（武蔵野大学）
積田淳史（武蔵野大学・非会員）
宍戸拓人（武蔵野大学・非会員）

⑦ 中国の専門職大学院における入学者の進学意識の分析―社会人と全日制大卒生の比較―

○王　佳（九州大学大学院）

⑧ 建学の精神の徹底と卒業に向けた意欲喚起を図る初年次教育の現状と課題

○橋本健夫（長崎国際大学）
○細野広美（長崎国際大学）
乙須　翼（長崎国際大学・非会員）
嶋内麻佐子（長崎国際大学・非会員）

⑨ 大学生のリーダーシップ養成におけるリフレクションの効果について

○村田晋也（愛媛大学）
山内一祥（佐賀大学）
秦　敬治（岡山理科大学）
片岡洋介（京都外国語大学）
仲道雅輝（愛媛大学）

⑩ 学生は書くことに対する意識をいかに深化させたかーライティング・ワークショップへの参加を通してー

○大森　優（首都大学東京）
○黒田史彦（首都大学東京）
伏木田稚子（首都大学東京）

【2104 教室】: 教職員の資質開発、学生支援、学びの環境、グローバル化教育

① 立教大学における教育活動表彰制度の FD への探索的活用

○山路　茜（立教大学）
○藤澤広美（立教大学）

② 現代日本の大学団体における研究・研修の在り方に関する考察―国立大学協会の活動を事例に

○遠藤　健（早稲田大学大学院）
八田　弘（国立大学協会・非会員）
石田友紀子（国立大学協会・非会員）
○戸村　理（國學院大學）
○蝶　慎一（大学改革支援・学位授与機構）

③ 正課内外活動における大学職員（技術系職員）の役割に関する一考

○伊東克己（東京理科大学大学院）
川村康文（東京理科大学・非会員）

④ 学生意識調査と教務データの連携による退学者予兆発見の試み

○稲積宏誠（青山学院大学）

⑤ 日本におけるラーニングコモンズを巡る議論の変遷を辿るーラーニングコモンズに関する文献レビューを手掛かりにー

○川面きよ（東北大学）
○千葉美保子（甲南大学）
岩崎千晶（関西大学）
村上正行（京都外国語大学）

⑥ 発達障害のある学生の就労支援Ⅰ

○田実　潔（北星学園大学）

⑦ クォ―タ―制導入によって生じた課題をどう改善するか―神戸大学の事例―

○近田政博（神戸大学）

⑧ グローバル社会に対応した大学教育―2016・2017 年度調査からの考察―

○野吾教行（学校法人河合塾・団体会員）
高井靖男（学校法人河合塾・団体会員）
友野伸一郎（教育ジャーナリスト・非会員）

【2105 教室】: データに基づく学びの評価

① 文系学部生の STEM 科目理解力―兵庫県立大におけるアセスメントテスト―

○庄司善彦（兵庫県立大学）

② ディプロマ・ポリシー（DP）達成度の可視化と自律的学修に関する一考察～山口大学と宮崎国際大学の事例を中心に～

○林　　透（山口大学）
○大関智史（宮崎国際大学）

③ ディプロマ・サプリメント発行に向けた汎用的能力の評価手法の検討

○石田雪也（千歳科学技術大学）
池田弘之（千歳科学技術大学・非会員）
吉本直人（千歳科学技術大学・非会員

④ 教育の内部質保証システムの一端としての「In Folio（アイフォリオ）」

○江本理恵（岩手大学）

⑤ 佐賀大学における e ポートフォリオの活用と展望

○山内一祥（佐賀大学）

⑥ インタビュー調査から見た短期大学における卒業生調査の実施状況とその課題

○黄海玉（短期大学基準協会）
○宮里翔大（桜美林大学大学院）
堺　完（立教大学）
山崎慎一（桜美林大学）

⑦ 私立医療系単科大学における教職員の協働による実質的な教学 IR の構築と実践

○斎藤有吾（藍野大学）
中村剛至（藍野大学・非会員）

⑧ 短期大学への進学理由が在学時の学びや成長の実感に及ぼす影響とは

○山崎慎一（桜美林大学）
○堺　完（立教大学）
黄海玉（短期大学基準協会）
宮里翔大（桜美林大学大学院）

⑨ 大学生の成長を捉えるための取り組み―四日市大学成長スケール 2016 年度作成版と地域志向の関連―

○斎藤　信（四日市大学）
黒田　司（四日市大学）

⑩ 学外学修効果測定尺度の開発に向けて

○新津泰昭（武蔵野大学）
宮崎雄基（PRUFF 株式会社・非会員）
高橋大樹（武蔵野大学）
積田淳史（武蔵野大学・非会員）
渡部博志（武蔵野大学）

12：15 ～ 13：00 昼食休憩（食堂、1102 及び 2201 教室、ラーニングコモンズ）

13：00 ～ 13：30 開会行事 （4101 教室）

総 合 司 会： 橋本健夫（実行委員会委員長）
開催大学挨拶：中島憲一郎（長崎国際大学学長）
学会会長挨拶：山田礼子（同志社大学・教授）

13：40 ～ 15：00 記念講演 （4101 教室）

演 題 :「プラチナ社会の実現に向けて －未来創造拠点としての大学―」
講 師 : 小宮山 宏 氏（三菱総合研究所理事長）

小宮山氏は、1967 年に東京大学工学部を卒業とともに、同研究科に進まれ、1972 年には工学博士を取得されています。同年に助手として大学教員としての一歩を踏み出され、1988 年には東京大学工学部教授に就任されました。その後、同工学研究科長、理事等を歴任され、2005 年から第 28 代東京大学総長を務められました。そして、2009 年から三菱総合研究所理事長として活躍されています。

人口減少と急激に高齢化する社会、その中で老朽化する都市インフラ、活力を失いつつある地域社会など日本は多くの克服困難な課題に直面しています。まさしく、課題先進国と言えます。氏は、これらの課題を乗り越えてこそ真の先進国となると考え、それらの解決のためのプラチナ構想ネットワークを 2010 年に立ち上げられました。「プラチナ」には、エコ（グリーン）、健康（シルバー）、IT（ゴールド）など様々な輝きを持った一ランク上の暮らしという意味が込められています。ここでは、エコで快適なまちづくり、人材が育ち高齢者も参加する活力あるまちづくりを推進できる社会の実現が目標となっています。その中で果たすべき大学の役割を講演して頂きます。

司会進行 : 池田輝政（追手門学院大学・教授）

15：10 ～ 17：00 開催校シンポジウム （4101 教室）

テーマ : 多様な学生が学び、共に成長するキャンパスへ
－国際社会にひらかれ、未来を創る大学の実現―

記念講演が未来社会における大学の在り方を示すことになりますが、本シンポジウムでは未来社会への生き残りをかけた現在の各大学の努力や工夫を紹介して頂きます。具体的には、次の視点からの現状と課題を提起して頂き、それぞれの在り方をフロアの皆様と考えます。

① 国際化に備えての多様なカリキュラムの編成と実施
② 国際社会で活躍する能力育成のための海外ビジネス研修
③ 国際色豊かな大学の構築に向けた経営基盤の強化
④ 多様な学生（特に障害を持った学生）に対する学修支援

パネリスト

1. 平田純一　氏（立命館アジア太平洋大学・教授）
2. 岩重聡美　氏（長崎県立大学・教授）
3. 清水明男　氏（学校法人羽衣学園常務理事、羽衣国際大学事務局長）
4. 近藤武夫　氏（東京大学・准教授）

座　　長　：　鳥居朋子（立命館大学・教授）

17：30　～　19：00　　情報交換会　ホテル「ローレライ」（先着 120 名）
〒859-3236　長崎県佐世保市南風崎町 449　Tel：0956-59-3939

第 2 日　12 月 2 日（日）

9：00　　受付開始（R 棟 1 階ロビー）

9：30　～　12：00

【課題研究シンポジウムⅠ】　　（4101 教室）

「現代のリベラルアーツとしての理数工系科目（STEM）の開発と教育実践のために」

本課題研究は 2017 年度に、①STEM リテラシーの向上と②STEM のリベラルアーツ化を目指して開始された。会長提案のプロジェクト時代も含めると研究機関は延べ 3 年となり、今年はその最終年度にあたる。

本課題研究を契機にして、或いはそれと並行して、本研究組織のメンバーを代表とする複数の科研費研究が採択された。①「全米大学協会 STEM 教育の調査研究」（代表：鈴木久男）、②「『高水準の数学的リテラシー』概念下の教育デザイン・実施・継続的改善とその理論」（同・川添充）、③「現代のリベラルアーツとしての理数工系科目（STEM）の開発と教育実践のために」（同・細川敏幸）、④「グローバル対応型 STEM 高等教育の国際比較を通した頭脳循環プログラム開発研究」（同・山田礼子）などがその例である。その結果、本課題研究は複数の科研費チームの緩い連合体によって推進されるというユニークな経緯をたどった。それぞれの研究成果の発表の場として、本学会の課題研究シンポジウム、大会時のラウンドテーブル、ホームページの「STEM ひろば」、『大学教育学会誌』などが、有効に利用された。

冒頭に掲げた 2 つの目的のうち①については、インテグレート科学の教科書の電子出版や、ティーチングチップスの蓄積などにおいてすでに成果をあげている。②の STEM のリベラルアーツ化については、昨年度の課題研究集会における問題提起を出発点として、現在活発な議論が行われている。またインテグレート科学は STEM の社会的側面を強調していることから、その成果の一部は②の要請に応えるものでもある。

本シンポジウムでは、①STEM とアートの融合を目指す新しい概念“STEAM”の展望について山田会員が解説を行い、ついで②文理を横断した問題として「学術英語」とグローバリズムの問題、③バークレーで化学をメジャーとしながら他の STEM 分野を学んだ体験、及び④全米カレッジ大学協会 AAC&U の STEM セクションの最近の動向について報告を行う。最後に本課題研究の代表者がプロジェクト全体の総括を行う。

企画者：細川敏幸（北海道大学）、斉藤 準（帯広畜産大学）、宇野勝博（大阪大学）、川添 充（大阪府立大学）、五島譲司（新潟大学）、齋藤芳子（名古屋大学）、鈴木久男（北海道大学）、高橋哲也（大阪府立大学）、塚原修一（関西国際大学）、西村秀雄（金沢工業大学）、濱名 篤（関

西国際大学)、森 利枝（大学改革支援・学位授与機構)、山田礼子（同志社大学)、山本一雄（神奈川工科大学)、吉永契一郎（金沢大学)，小笠原正明（北海道大学）

司会者：細川敏幸（北海道大学）

趣旨説明：細川敏幸

サブテーマ1：STEM教育における文理融合の意味と課題

講演者：山田礼子（同志社大学）

サブテーマ2：STEM教育時代の英語とアメリカ

講演者：宮本陽一郎（放送大学）

サブテーマ3：UCバークレーでの理系カリキュラム～化学科での実体験をもとに～

講演者：中村優希（東京大学）

サブテーマ4：AAC&U STEM Meeting 2018について

講演者：鈴木久男（北海道大学）

総　括：細川敏幸

12：00　～　13：00　　昼食休憩

※事前に申し込まれた方には、会員控室（1201 教室）にてお弁当をお渡しします。

13：00　～　15：30

【課題研究シンポジウムⅡ】　　（1101 教室）

「学生の思考を鍛えるライティング教育の課題と展望」

本研究では、大学の授業改善と、喫緊の課題である高大接続を視野に入れ、さらには大学での学習経験が職業キャリアにどう生きるかまで、長期的な展望に立ち、検討をおこなう。焦点を「学生の思考を鍛えるライティング教育」に絞り、正課教育（教育内容・教育方法・カリキュラム等）と正課外教育（大学図書館・ライティングセンター・キャリアセンター等）の両面から、持続的統合的な指導体制について学際的多面的に探究することを目的とする。

2018 年度課題研究集会では、趣旨説明としての研究の全体像を明確にした上で、3 つの実践研究報告を行う。(1) 初年次必修文章表現科目の 15 年にわたる成果と課題、(2) 大学教育ではレポート課題にどのような論題を課せば良いのか、(3) レポートを書く際に思考を鍛えるような学習経験をすると卒業後の職業にどう活きるのか、を実証データや授業実践研究などによって明らかにする。以上の報告を踏まえ、これからの大学でのライティング教育の在り方についてフロアとの討論を通して深めていきたい。

企画者：井下千以子（桜美林大学)、大島弥生（東京海洋大学)、成瀬尚志（長崎大学)、小山　治（京都産業大学)、小笠原正明（北海道大学)、杉谷祐美子（青山学院大学)、関田一彦（創価大学)、柴原宜幸（開智国際大学)、

司会者：関田一彦（創価大学)、柴原宜幸（開智国際大学）

指定討論者：小笠原正明（北海道大学)、杉谷祐美子（青山学院大学）

サブテーマ 1：学生の思考を鍛えるライティング教育の充実に向けて

講演者：井下千以子（桜美林大学）

サブテーマ２：初年次必修文章表現科目の成果と課題
講演者：大島弥生（東京海洋大学）
サブテーマ３：ライティング教育における論題の役割
講演者：成瀬尚志（長崎大学）
サブテーマ４：レポートに関する学習経験と職業的レリバンス
講演者：小山　治（京都産業大学）

【課題研究シンポジウムⅢ】　　（4101 教室）
「アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実証的研究」

本課題研究では、正課のアクティブラーニング型授業におけるティーチング・アシスタント（TA、主として大学院生）・スチューデント・アシスタント（SA、主として学部生）などを「学生アドバイザー」と置き、学部生を含めたピアの学修支援を実現する制度・研修・活動・効果について実証的に研究することを目的とする。学生アドバイザーは、個別の大学が個別に取組んでいるため、その活動内容・質・広がりも様々であるが、制度として組織的に位置づけられるならば、その養成を個々の教員の取り組みにとどめることなく、授業の受講学生の教育・学修の質の向上をともに図ることを可能とすることが期待される。今回のシンポジウムでは、国内実践事例及び制度の報告をもとに、制度・研修・養成・効果の枠組みを整理し、点から線へつなげる議論の機会としたい。

企画者：杉森公一（金沢大学）、堀井祐介（金沢大学）、河内真美（金沢大学）、山本啓一（北陸大学）、田尻慎太郎（横浜商科大学）、宮本知加子（福岡工業大学）、三浦真琴（関西大学）、安部（小貫）有紀子（大阪大学）
企画協力者：沖　裕貴（立命館大学）
司会者：堀井祐介（金沢大学）

サブテーマ１：関西大学ラーニング・アシスタントの事例
講演者：三浦真琴（関西大学）
サブテーマ２：福岡工業大学クラス・サポーターの事例
講演者：宮本知加子（福岡工業大学）
サブテーマ３：金沢大学アクティブ・ラーニング・アドバイザーの事例
講演者：河内真美（金沢大学）

総 合 討 論：学生アドバイザー実践枠組みの検討

15：40　～　16：00　　閉会行事　　（1101 教室）
副会長挨拶　　松下佳代（京都大学・教授）
次年度大会開催校、課題研究集会開催校挨拶　　玉川大学、エリザベト音楽大学
閉会挨拶　2018 年度課題研究集会実行委員長　橋本健夫（長崎国際大学）

＜課題研究集会参加申し込み要領＞

1. 参加申し込みについて

大学教育学会 2018 年度課題研究集会の参加手続き等に関しては､｢京王観光株式会社大阪西支店｣に業務を委託する形をとっております。

従って、参加される皆様は、以下の要領で参加申し込み及び参加費等の支払いを行ってください。なお、準備の都合上、事前申し込みにご協力をお願いします。

参加申し込みは、参加費等のお支払いをクレジットで行うか、振り込みで行うかを選択の上、下記の URL からアクセスして進めてください。

【参加費用一覧】

費　用　項　目		事前申し込み（11 月 9 日（金）まで）		大会当日申し込み
		銀行振り込み	クレジット払い	現金のみ
参　加　費	会員・一般	5,000 円	5,000 円	6,000 円
	学　　生	1,000 円	1,000 円	1,000 円
情報交換会費（事前申込みを！）	会員・一般	5,000 円	5,000 円	6,000 円
	学　　生	2,000 円	2,000 円	2,000 円
12 月 1 日（土）のお弁当		700 円（お茶付き）		申し込み不可
12 月 2 日（日）のお弁当		700 円（お茶付き）		申し込み不可
『要旨集』のみ（大会不参加で要旨集のみ希望の方）		1 部　1,000 円		

○払い込みされた参加費等は、理由を問わず返却いたしません、

○参加費等を払い込みながら、ご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。

銀行振り込み・クレジットカード　事前申し込み

専用 URL　：https://kitos-001.jp/jacuemeeting2018/Entry/RegTop.aspx

学会ホームページからもアクセスできます。

○申し込みサイトは 11 月 9 日（金）に閉鎖します。11 月 9 日（金）までに事前申し込みをされなかった方は、大会当日に受付にて当日料金をお支払いください。（現金のみ）

○【お支払方法：銀行振り込みの場合】

・参加にかかる合計金額（情報交換会・お弁当代を含む）を、11 月 9 日（金）までにお振込みください（振込手数料はご負担ください）。

・ご送金人氏名と参加申込人氏名は同一でお願いします。

・お振込みいただく銀行口座の情報は、参加登録後に登録完了メールが自動送信されますので、そちらのメールでご確認下さい。

・複数名分をまとめてお振込みされる場合は、お振込みいただく際に全員分の受付番号もしくは、参加者全員のお名前をご入力下さい。（参加登録後に、ご入力メールアドレスに登録完了メールが自動送信されます。受付番号はそのメールに記載されています。）

・締め切り後にご入金の場合、課題研究集会当日までに入金が確認できない場合がありますので、ご入金時の受領証を当日ご持参ください。なお、締め切り後のご入金の場合は、当日受付扱いとなりますので、差額を受付時にお支払い頂くことになります。

○【クレジットカードの場合】

申し込みサイト上で受付が完了した時点で、クレジットカードでの自動決済となります。

2. 宿泊予約について

大学教育学会 2018 年度課題研究集会へのご参加の皆様方の宿泊に関しても、「京王観光株式会社大阪西支店」に便宜を図って頂くように依頼をしております。会場に近いホテル、若しくは、佐世保の中心街のホテルなど交通の便を考えた宿泊施設等を案内して頂けるかと存じます。予約は先着順となりますので、宿泊手配をご希望の皆様は、次の URL から宿泊登録をお済ませください。予約ページは学会ホームページからもアクセスできます。

宿泊予約 URL　：

https://kitos-001.jp/jacuemeeting2018hotel/Entry/RegTop.aspx

募集期間　：　2018 年 10 月 1 日（月）　～　2018 年 11 月 9 日（金）
宿泊設定日：　2018 年 11 月 30 日（金）、12 月 1 日（土）の宿泊分
ホ テ ル　：　会場周辺及び佐世保中心街のホテル。
詳細は、宿泊登録の HP からご確認ください。
支払方法　：　銀行振り込み、または、クレジットカードでのお支払いとなります。
※お支払い方法で銀行振込をご選択の場合は、2018 年 11 月 16 日（金）までに当社指定の口座へお支払いください。

＜お問い合わせ先＞

京王観光株式会社　大阪西支店　（平日 9：00～18：00、土日祝日休業）
〒550-0011　大阪府大阪市西区阿波座 1-3-15　JEI 西本町ビル 6F
TEL：06-6541-8828　　FAX：06-6541-8820
メールアドレス：　a.muroyama@keio-kanko.co.jp
担当：室山　絢子（むろやま　あやこ）、薬師寺　里佳（やくしじ　りか）

3. 12 月 1 日（土）及び 12 月 2 日（日）の昼食

12 月 1 日（土）は、大学構内の食堂は営業しておりますが、メニューと提供数が限定されております。一方、12 月 2 日（日）は、食堂の営業はありません。また、会場校の周辺にはコンビニや食堂等がありません。**従って、両日ともに、お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。**

4. 託児室

時節柄、託児室は必要と考え、検討を重ねましたが、不測の事態への対応等から、本大会における託児室の開設は見送らせていただきました。大会参加の皆様方にはご不便をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

5. クローク

クロークにつきましては大会参加受付のすぐそばの**R102 教室**に設けております。ご活用ください。

6. 学会事務局

学会事務局は、大会参加受付の隣の R101 教室に開設いたします。

7. お茶席（自明堂）のご用意

ホスピタリティの獲得を掲げる本学は、開学以来、教育の柱の一つとして茶道教育を重視してまいりました。現在も初年次教育に組み込み、全員が履修しています。その教室である自明堂で、昼食時に学生がお点前を披露し、お抹茶を差し上げることにしております。是非、自明堂に足を運んでいただき、本学の精神の一端に触れて頂ければと考えております。

8. 大学内禁煙

長崎国際大学は、健康や観光に関する業務に係る人材育成の観点から、大学内は全面禁煙となっております。ご参加の皆様方におかれましては、本学の方針をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

9. 書籍展示

各出版社様のブースは、参加者の動線を考え、2 号館 1 階の 2101 教室を用意しています。多くの書店の参加をお待ちしています。

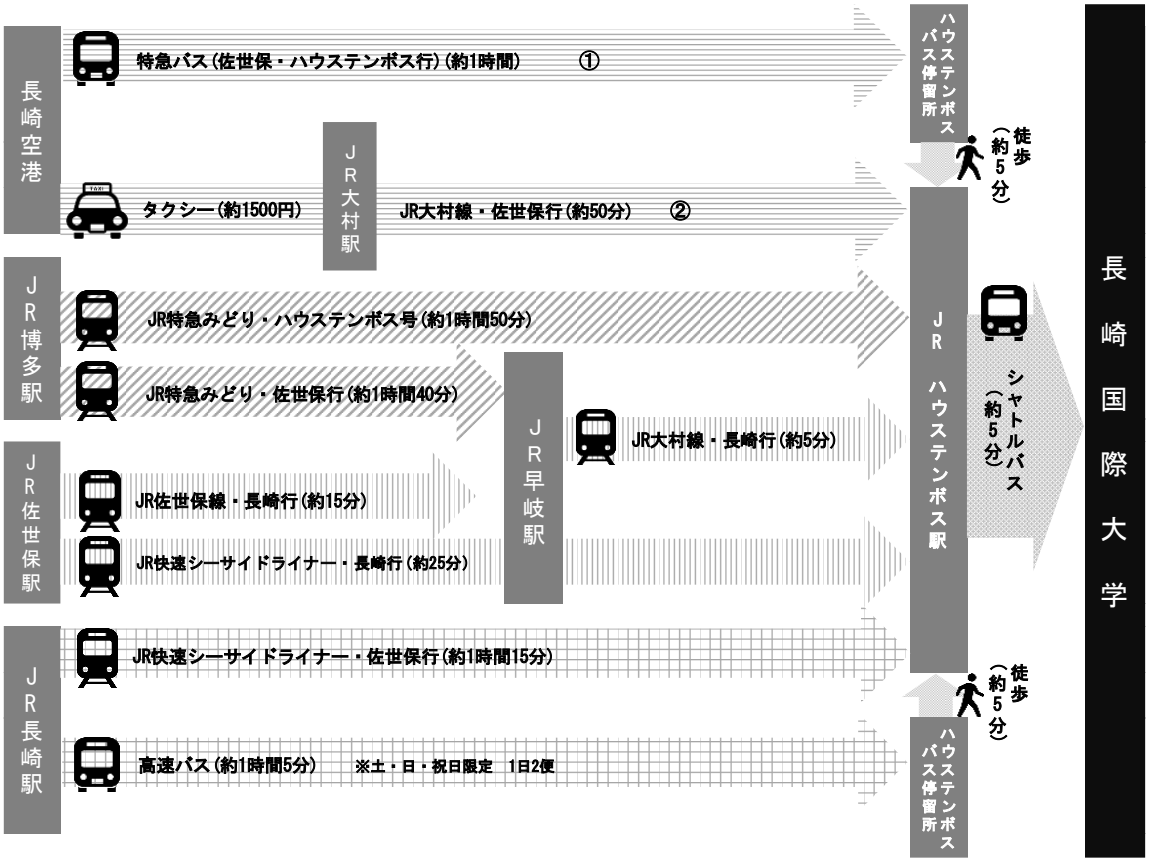
10. 企業展示

企業様の展示ブースは、書籍展示同様参加者の動線を考えて、2 号館 1 階の 2101 教室及び教室隣のロビーを用意しています。多くの企業の参加をお待ちしています。

11. 課題研究集会実行委員会事務局

本大会の実行委員会の事務局は、2 号棟の 2 階の 2202 教室に設置します。何か問題が生じたときは本部までご連絡ください。

12. 大会会場へのアクセス　　（※お車でお越しの方々には、駐車場を用意しております。）



※長崎空港を利用される場合、特急バス（長崎空港⇔佐世保・ハウステンボス）の利用が一般的です。「ハウステンボス停留所」で降りて頂き、徒歩で「JR ハウステンボス駅」に来られますと（案内します。所要時間 5 分）、シャトルバス（長崎国際大学⇔JR ハウステンボス駅）が利用できます。①

※長崎空港で特急バス（定員 50 名）に乗れない場合（飛行機の到着が重なった場合）、タクシーで JR 大村駅に行き（約 1,500 円）、JR 大村線でハウステンボス駅に来て頂きますとシャトルバスがご利用いただけます。JR 大村駅とハウステンボス駅の所要時間は、約 50 分です。②

※JR 佐世保駅周辺に宿をとられる方は、JR 大村線でハウステンボス駅に来て頂くことをお奨めします。

○長崎空港とハウステンボス間の空港特急バス時刻表（平成 30 年 9 月）

長崎空港発		ハウステンボス着		ハウステンボス発		長崎空港着
9：20		10：19		6：35		7：50
10：10		11：09		7：20		8：35
10：40		11：39		8：10		9：25
11：30		12：29		9：00		10：15
12：30		13：29		10：20		11：35
13：30		14：29		11：40		12：55
14：50		15：49		12：50		14：05
15：20		16：19		13：25		14：40
15：50		16：49		13：50		15：05
16：30		17：29		14：45		16：00
17：15		18：14		15：15		16：30
18：45		19：44		15：40		16：56
19：05		20：04		16：50		18：05
20：10		21：09		18：15		19：30
21：20		22：19		19：15		20：30
21：40		22：39				

○JR 大村線時刻表（研究集会開催時間帯のハウステンボス駅(HTB)中心）（平成 30 年 9 月）

大村線下り（大村（長崎）方面）					大村線上り（佐世保方面）			
佐世保	早　岐	HTB	大　村		大　村	HTB	早　岐	佐世保
7:51	8:04	8:10	8:54		8:10	8:52	9:05	9:18
8:27	8:42	8:48	9:32		8:34	9:10	9:22	9:36
9:18	9:33	9:39	10:18		9:20	10:03	10:08	
10:09	10:26	10:32	11:14		9:57	10:37	10:53	11:05
11:09	11:24	11:30	12:14		10:53	11:35	11:42	11:58
12:07	12:24	12:30	13:15		11:53	12:34	12:43	12:58
13:07	13:25	13:31	14:14		12:53	13:36	13:53	14:05
14:10	14:24	14:30	15:15		13:53	14:34	14:43	14:58
15:10	15:24	15:30	16:14		14:52	15:34	15:44	16:00
	16:02	16:08	16:57		15:53	16:34	16:45	17:01
16:19	16:40	16:46	17:24		16:46	17:23	17:35	17:52
16:52	17:07	17:13	18:05		17:34	18:21	18:29	18:42
17:13	17:39	17:44	18:25		18:04	18:40	18:56	19:08
18:07	18:27	18:33	19:00		18:35	19:17	19:24	19:36
18:51	19:06	19:12	19:51		19:08	19:49	19:56	20:08
					19:29	20:20	20:27	20:40
					20:17	20:53	21:04	21:17

○JR 博多―佐世保（ハウステンボス（HTB））特急時刻表抜粋（平成 30 年 9 月）

下り（佐世保、HTB 方面）					上り（博多方面）				
列車名	博　多	早　岐	HTB	佐世保	列車名	佐世保	HTB	早　岐	博　多
み 1	7:29	9:11		9:27	み 8	8:47		9:02	10:34
み/ H3	8:34	10:16	10:22	10:26	み/H10	9:42	9:46	9:58	11:34
み/ H5	9:31	11:14	11:32	11:25	み/H12	10:40	10:43	10:59	12:34
み/ H7	10:32	12:15	12:19	12:25	み/H14	11:42	11:45	11:59	13:34
み/ H9	11:31	13:09	13:19	13:25	み/H16	12:42	12:46	12:59	14:34
み/H11	12 : 31	14 : 15	14 : 22	14 : 26	み/H18	13:42	13:47	14:00	15:34
み/H13	13:31	15:15	15:21	15:20	み/H20	14:42	14:54	15:00	16:36
み/H15	14:31	16:17	16:24	16:28	み/H22	15:44	15:47	16:02	17:34
み/H17	15:31	17:15	17:19	17:24	み/H24	16:42	16:46	17:00	18:35
み 19	16:31	18:16		18:25	み/H26	17:43	17:47	18:00	19:32
み 21	17:31	19:16		19:25	み 28	18 : 43		19 : 01	20:56
み 23	18 : 33	20 : 12		20 : 23	み 30	19 : 32		20 : 08	21 : 36
み 25	19 : 33	21 : 23		21 : 32					
み 27	20 : 33	22 : 15		22 : 25					

＜注＞　　み１　：　みどり１号、　　み/H3　：　みどり、ハウステンボス 3 号

○シャトルバス運行表（予定）

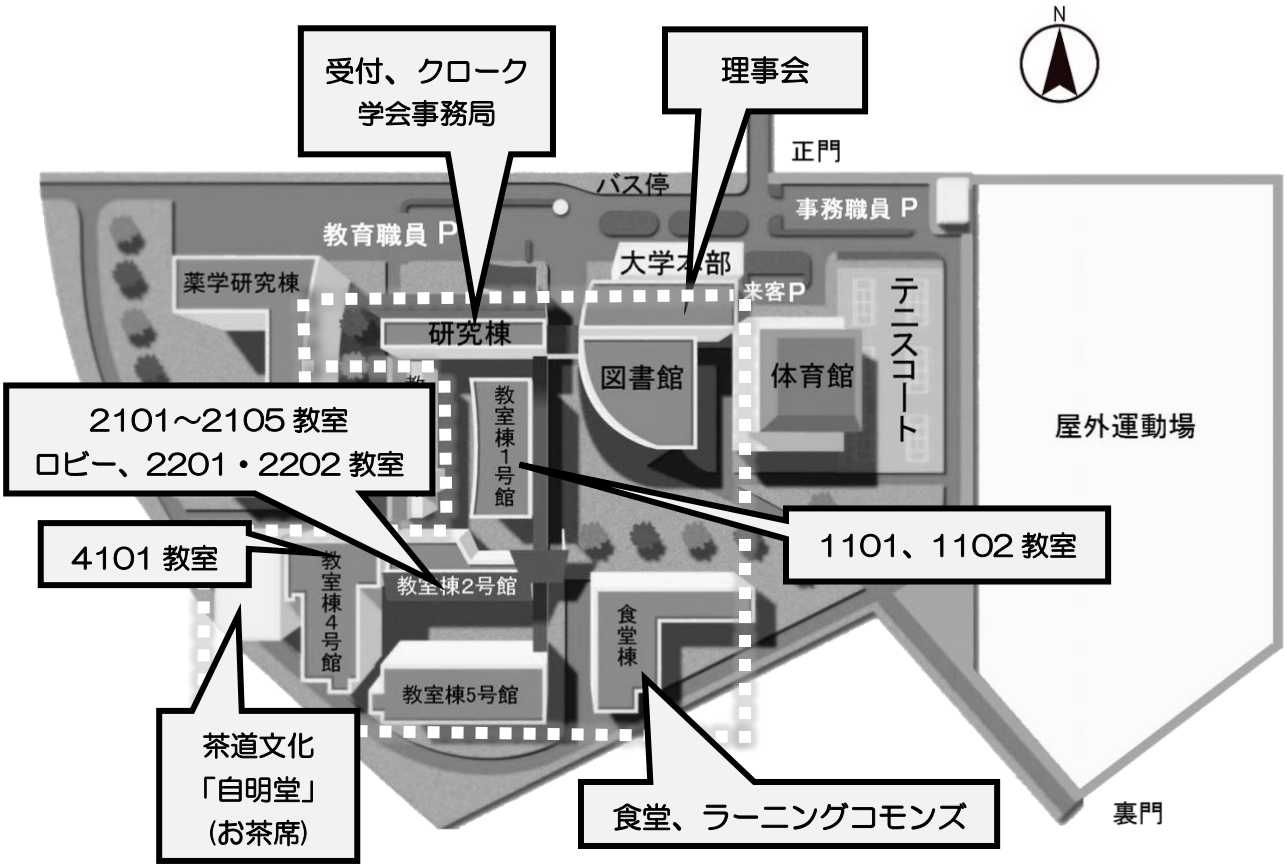
12 月 1 日（土）長崎国際大学⇔ JR ハウステンボス駅

大学発	JR 駅着	JR 駅発	大学着	大学発	JR 駅着	JR 駅発	大学着
8 : 45	8 : 55	9 : 00	9 : 10	9 : 15	9 : 25	9 : 30	9 : 40
9 : 45	9 : 55	10 : 00	10 : 10	10 : 15	10 : 25	10 : 30	10 : 40
10 : 45	10 : 55	11 : 00	11 : 10	11 : 15	11 : 25	11 : 30	11 : 40
11 : 45	11 : 55	12 : 00	12 : 10	12 : 15	12 : 25	12 : 30	12 : 40
12 : 45	12 : 55	13 : 00	13 : 10	13 : 15	13 : 25	13 : 30	13 : 40
15 : 45	15 : 55	16 : 00	16 : 10	16 : 15	16 : 25	16 : 30	16 : 40
16 : 45	16 : 55	17 : 00	17 : 10	17 : 15	17 : 25	17 : 30	17 : 40
17 : 45	17 : 55	18 : 00	18 : 10	18 : 15	18 : 25		

12 月 2 日（日）長崎国際大学 ⇔ JR ハウステンボス駅

大学発	JR 駅着	JR駅発	大学着	大学発	JR 駅着	ＪＲ駅発	大学着
				8 : 15	8 : 25	8 : 30	8 : 40
8 : 45	8 : 55	9 : 00	9 : 10	9 : 15	9 : 25	9 : 30	9 : 40
9 : 45	9 : 55	10 : 00	10 : 10	10 : 15	10 : 25	10 : 30	10 : 40
10 : 45	10 : 55	11 : 00	11 : 10	11 : 15	11 : 25	11 : 30	11 : 40
11 : 45	11 : 55	12 : 00	12 : 10	12 : 15	12 : 25	12 : 30	12 : 40
12 : 45	12 : 55	13 : 00	13 : 10	13 : 15	13 : 25	13 : 30	13 : 40
15 : 45	15 : 55	16 : 00	16 : 10	16 : 15	16 : 25	16 : 30	16 : 40
16 : 45	16 : 55	17 : 00	17 : 10	17 : 15	17 : 25	17 : 30	17 : 40
17 : 45	17 : 55	18 : 00	18 : 10	18 : 15	18 : 25		

13. 大会会場案内図



大学教育学会 2018 年度課題研究集会実行委員会
長　崎　国　際　大　学
〒859-3298　長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7
お問い合わせ用 E-mail：jacue-meeting2018@niu.ac.jp

代議員選挙についてのお知らせ

代議員選挙管理委員会

大学教育学会では、定款及び大学教育学会規則（以下、規則という）、代議員選挙管理員会及び理事・監事候補推薦委員会細則（以下、細則という）の定めるところに従い、2019 年 4 月に代議員選挙を行います。投票期間は 2019 年 4 月 1 日から 5 月 1 日までを予定しています。

1. 代議員定数：45 名以上 55 名以内
2. 任期：選任の 4 年後に実施される代議員選挙終了の時まで
3. 選挙人資格：選挙開始日の 2 か月前において正会員である者
4. 被選挙人資格：代議員任期満了年度の前年度に正会員であり、当該代議員選挙投票締切日において引き続き正会員である者
5. 投票方法：電磁的方法による投票を基本とし、事前に申し出のあった場合には、郵送による投票も行う。

★郵送による投票を希望する方へ

前回の代議員選挙と同様、オンライン選挙を実施しますが、郵送による投票を希望される場合は、事前に申し出る必要があります。

2018 年 10 月 31 日までに、郵送、電子メールまたはファックスにて、学会事務局までお知らせください。

★被選挙人名簿への掲載辞退を希望される方へ

代議員選挙の被選挙人名簿への掲載辞退を希望される方は、2018 年 10 月 31 日までに、郵送、電子メールまたはファックスにて学会事務局までお知らせください。

郵送による投票の希望、被選挙人名簿への掲載辞退の希望の申し出期日は、作業の都合上、2018 年 10 月 31 日（水）といたします。期日までにお申し出のない場合は、被選挙人名簿に掲載され、オンライン選挙を希望されるものとしてご登録させていただきます。

【連絡・問合せ先】
一般社団法人大学教育学会　事務局
〒252-0231　神奈川県相模原市中央区相模原　2-8-20-204
Tel/ Fax：(042)707-8112
E-mail：jacue.office@gmail.com

第１回大学教育研究入門講座の実施報告

大学教育学会では、新たな試みとして、大学教育研究入門講座を開催し、大学教育研究力の向上を目指すことになりました。第１回大学教育研究入門講座は以下の通り実施されました。

日時：2018 年 8 月 24 日（金）
会場：同志社大学今出川キャンパス 至誠館３階会議室
講座１：「大学教育研究の理論と方法（１～２）」（講師：寺崎昌男）
10:00～10:45　1. 大学教育研究の理論と方法（講義１）
11:00～11:45　2. 大学教育研究の理論と方法（講義２）
受講者数：17 名
講座２：「研究論文の書き方（１～３）」（講師：井下千以子、松下佳代）
13:00～13:45　1. 論文作成の基本（担当：井下）
14:00～14:45　2. 序論の構成の分析（担当：井下）
15:00～15:45　3.『大学教育学会誌』に求められる水準（担当：松下）
受講者数：16 名

〈総括〉　　会長　山田礼子

今回、初めて、「大学教育研究力向上プロジェクト」の一環として、2018 年 8 月 24 日に同志社大学において、寺崎昌男先生による「大学教育研究の理論と方法（1～2)」と井下千以子先生、松下佳代先生による「研究論文の書き方（１～３）」の講座を午前・午後にかけて開講しました。

この講座を開講した背景については、「大学教育学会における会員のディシプリンの多様性に加えて、近年会員のキャリア形成上の多様化が進んでいます。そのため、自ら研究を進めていくうえでの、研究の基礎あるいは発展のトレーニングを受けないままに、論文執筆や研究発表に取り組むケースも増加しているようにも思われます。本講座シリーズは、多様な背景を持つ会員を対象に、大学教育研究入門講座を開講することで、基本的な研究の作法、研究論文の執筆方法、研究方法への入門等を受ける機会を提供し、会員の研究力向上を目指しています」と説明してきました。

当日は、前日に近畿地方に台風が到来したこともあり、開講できるかどうか心配いたしましたが、事前申込者のほとんどが参加してくださいました。また、年齢層も若手から中堅まで、職種も職員から教員と多様な層の方々が参加してくださいました。参加者の多くが大学院で学んだ経験を持ち、現在論文を執筆中である方も多かったことが印象的でした。多くの参加者が、「現在の仕事に関連した研究を継続したい」、あるいは「自分が受けた専門領域とは異なり、大学教育に関する論文を書きたい」といった希望を表明され、講座が終了しても講師の先生方に熱心に質問をされていました。この意味で、まさにこれまでの専門分野とは異なる「社会人の学びなおし」という意味が今回の大学教育研究力向上プロジェクトにはあったのではないかと思います。事後アンケートでも建設的なご意見をいただきました。そうしたご意見を参考にして、今後も会員のニーズに合わせた講座を引き続き提供していきたいと考えています。

＝事務局から＝

● 2018年度課題研究集会について

2018年度課題研究集会は、12月1日（土）・2日（日） 長崎国際大学（長崎県佐世保市ハウステンボス町）にて開催予定です。本文内の実施要項等に従い、奮ってご参加お申し込みください。

● 大学教育学会第41回（2019年度）大会について

2019 年度第 41 回大会は、2019 年 6 月 1 日(土)・2 日(日)に玉川大学（東京都町田市）にて開催予定です。ラウンドテーブルや自由研究のお申込みについては、次号（NL110 号）にてお知らせする予定です。

● 2018年度（第14回）大学教育学会奨励賞の募集について

大学教育学会奨励賞は、大学教育および大学教育研究の発展を期して設けられました。

受賞対象者は本学会個人会員です。2018 年度（第 14 回）は、第 37 第 1 号から第 40 巻第 2 号までの過去 4 年間の学会誌に掲載された論文が対象となります。応募は自薦・他薦を問いません。

① **提出書類**　＜自薦＞論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由（研究の意義・成果など1,000字以内）／＜他薦＞論文、推薦理由（研究の意義・成果など1,000字以内）
② **募集締切**　2019年1月11日（金）必着（締切厳守）
③ **送付先**　**大学教育学会事務局**
〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204

なお奨励賞についての詳細は、「一般社団法人大学教育学会表彰規程」第 2 章をご確認ください。
（本学会ウェブサイト内掲載）

● 学会関連資料のご寄贈のお願い

特に探究している資料は、以下の通りです。学会事務局まで「着払い」でお送りください。

＊大会発表要旨集録等（1979,1981, 2000, 2002, 2004 年）
＊課題研究集会要旨集
（1981,1982,1985,1986,1987,1988,1989,1992,1993,1998,2001,2003,2004,2005,2008 年）

その他、一般教育学会時代の資料についてもご寄贈をお待ちしています。

● オンライン検索サービス提供について

従来の名簿に代わる会員検索サービスは、個人会員、団体会員が利用可能です。（ID・PWの入力が必要です。） 検索対象は個人会員のみです。

情報検索項目（基本情報）は、【氏名】、【カナ】、【所属先】、【専門領域】の4 項目で検索（部分検索）可能です。その他の項目の開示・非開示については、会員本人の選択項目になります。

●「JACUEセレクション2019」の募集について

大学教育学会は、各大学の大学教育改革、効果的な大学教育実践を支援するために、優れた書籍を選定し、「JACUE セレクション」として広く紹介することにしています。

「JACUE セレクション 2019」の募集要項は、12 月上旬に公表する予定です。

これまでの JACUE セレクションについてはウェブサイトをご参照ください。

● 会費納入のお願い

今年度(2018年度)会費が未納の会員には、請求書及び郵便払込票を同封させていただいております。過年度分会費の未納がある会員は、速やかにご入金ください。ご入金が9月中旬以降の場合、請求書及び郵便払込票が同封となっている場合がございます。会費納入状況について不明の場合、下記の大学教育学会　学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

納入は、下記のオンライン決済または従来通り郵便払込票をご利用ください。

領収書につきましては、オンライン発行をご利用ください。

年会費等郵便振替口座　00210-9-102857 「一般社団法人大学教育学会」

また、銀行からご入金を希望される場合は、

入金前に必ず、下記の大学教育学会　学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

＜「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先＞

大学教育学会　学会業務取扱センター

〒170－0002　東京都豊島区巣鴨1丁目24-1　第2ユニオンビル4F

TEL:03－5981－9824　FAX:03－5981－9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただいております。

また、学会誌への投稿(第41巻第1号投稿締切:2019年1月末予定)、第41回大会時の発表申込(2019年2月頃募集予定)は、2018年度分までの会費が納入済みであることが条件となります。

納入状況は、学会ウェブサイトの会員ページ内にあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。または、上記の大学教育学会　学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

※課題研究集会時(12月1日(土)13時～17時、2日(日)9時～15時)は、会場に学会事務局の受付を設置し、未納分の会費納入(現金のみ受付可)、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布予約等を行いますのでご利用下さい。

● 年会費のオンライン決済の利用方法・領収書のオンライン発行の手順

大学教育学会ウェブサイト・トップページにある「年会費オンライン決済」のボタンをクリックし、「オンライン決済ログイン」もしくは「領収書発行ログイン」のどちらかを選択します。

＜オンライン決済の場合＞

① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員IDとパスワードを入力し、ログインします。

② オンライン決済のページに移り、会費請求額が示されます。ご確認の上、決済金額をご入力ください。

＊過年度分の会費が未納になっている方は、「年会費請求額」および「決済金額」を確認してください。

＊デフォルトで未納分を合算した請求額を決済金額としていますので、単年度のみの決済を希望される場合は、決済金額を変更してください。この場合、古い年度分から決済されます。

③ オンライン決済画面では、決済金額を確認し、クレジットカード情報を入力してください。

＊クレジットカード情報等の決済内容は、決済代行会社に送信されるだけで、大学教育学会のサーバーに蓄積されることはありません。また、決済代行会社への通信は、SSL暗号化通信により、通信の秘密は保持されます。

④ 未納の会費がない場合は、「未納の会費請求データが見つかりませんでした」と表示されます。

＜領収書のオンライン発行の手順＞

① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員 ID とパスワードを入力し、ログインします。

② 会員情報管理メニューの「年度別に会費を照会する」のボタンをクリックします。

③ 年度ごとに納付状況が示されます。領収書の必要な年度の「領収書の発行」ボタンをクリックします。

④ 領収書発行の画面の指示に従ってください。

● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員ページ」にあります「会員情報の照会・更新」からご自身でご変更をお願い申し上げます。ID（会員番号）・PWを紛失された方は、大学教育学会　学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者DM便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年2～3回、大学教育学会メール通信（メールマガジン）を配信しております。

しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて学会アドレスjacue.office@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願い致します。

※事務局からのお知らせは、本学会ウェブサイトにも掲載しています。
URL:http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/

一般社団法人
大学教育学会

【大学教育学会事務局】
〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204
Tel/ Fax: 042-707-8112
E-mail:jacue.office@gmail.com
URL:http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/

【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】
大学教育学会　学会業務取扱センター
〒170－0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F
TEL:03－5981－9824　FAX:03－5981－9852
E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp